

# 議会だより

# きもつき

第42号

平成29年2月21日  
発行

●「きもつき」の題字は内之浦小  
4年 馬込 空そらさんが書かれました



おにはそと！

写真提供 恵心保育園

## 12月定例議会（会期：12月9日～22日）

平成28年度一般会計補正予算	2P
一般質問 6人がただす	3〃
所管事務調査報告	9〃

◆発行 肝付町議会 ◆編集 議会広報委員会

TEL 0994-65-2511（内線1263）・0994-65-8431（直通）FAX 0994-65-2507

肝付町ホームページでも、ご覧頂けます。 URL <http://kimotsuki-town.jp/>

# 一般会計補正予算 (7号・8号・9号)

6億2,206万円追加し  
**119億2,972万円に**

高山中学校温室  
災害復旧工事

**300万円**



内之浦小学校体育館  
災害復旧工事

**350万円**



岸良中学校改修工事

**594万円**



岸良中学校空調設備設置  
工事設計業務委託料

**165万円**



岸良小中一貫校へ向けて

議会費旅費等

**△101万円**

議員研修視察を実施しなかったため減額

# 一般質問

## カラーピーマン生産農家の安定経営を図るための町の助成について

初期投資に対し、一層の助成措置をしては。

町長…関係機関と協議しながら、さまざまな角度から検討したい。



青井 國男 議員

**青井** 初期の投資が大きく、返済が負担になっているピーマン農家がある。年間の生産売り上げが一反当たり三百万円から四百万円

程度あると聞いています。初期投資金額の返済を年間二百万円程度支払い、差し引きすると、生活に困窮することになる。初期投資とは、ハウス建設だけでなく、諸々の資材、農耕用機械の購入等も含まれている。これらのハウス、機械等も何れは消却してしまう。一層の助成措置が必要と思うが。

**町長** これまで国・県補助事業への上乗せ補助や、町単独事業については他市町よりも充実しているつもり。農業経営の安定には反収の増加、それと秀品率の向上が不可欠。困窮されているという

担当課に於いて、経営指導している。今後、新たな投資補助が必要なものには、新たに検討を加えていきたいと思っている。

**青井** 25年度で農業青年就農給付金は終了する。あわせて新たな助成事業としてウドンコ病対策の機器を普及したい。また所得補償制度の創設に向け、関係団体と協議を進めていきたい旨の答弁を26年の同僚議員の質問で説明されておりますがそれがどのように推進されて、どのように進捗しているのか。

**農振課長** ウドンコ病対策の機器については硫黄くん煙器に含まれる硫黄が器材を傷める。

**町長** 町が建設するとい

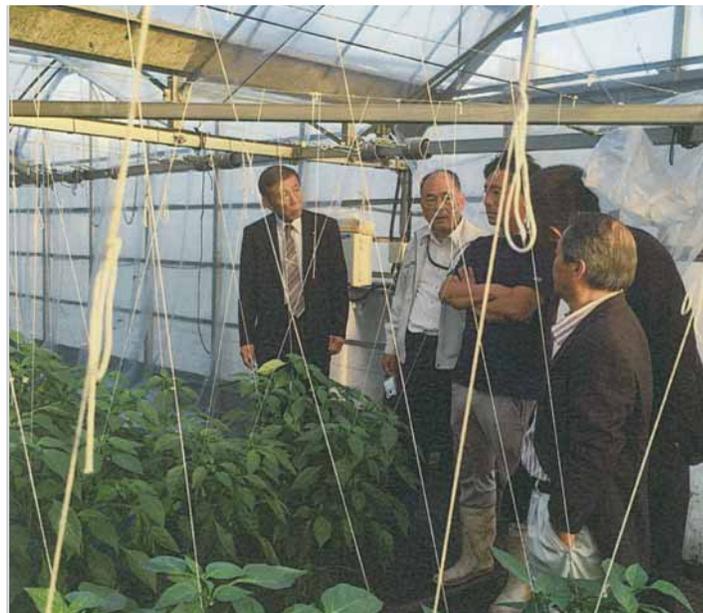
鋼材を腐食させる事態があるということでは一旦、普及については見合わせているが、最近その錆、腐食等について、対策ができるという情報も入っている中で、その件については今後、対応、検討していく。所得補償制度については、経済連を中心に、カラーピーマンの研修を終了した農家の補償制度を策定するというところで、経済連J A、生産者が積み立てをするといった制度ができ上がっている。

**青井** ブランド化を図るためにカット施設、集荷施設等の建設も必要ではないか。また、品質の均一化でも重要と考えるがどのような対応を考えか問う。

今後、関係機関と協議していく。

掲載してある文章は議員自ら執筆したものが経済連やJ A等で建設計画はないか聞いたところ、経済連の計画で、来年度以降、鹿屋市にジャガイモやニンジン、タマネギ等の一次加工を行なう加工場を建設する計画があると聞いた。

農振課長 農業振興課長



カラーピーマンほ場

太鼓 重義 議員



肝付南部統合簡易水道について

負担金はどうして決めたのか。

町長…第36条の費用の軽減、免除により。

**太鼓** どのくらい厳しいと促してるか。

**水道課長** 259世帯のうち129世帯。今のところ加入者が少ない。

経費的にはちよつとかり過ぎる。

**太鼓** 計画された時点での採算性、マイナスはどのくらいか。

**水道課長** 今のところ、はつきりした数字は出ない。

**太鼓** 年間経費が幾らかかると試算してあるはずだが。

計算されてなかったと言うことですか。

**町長** 申し訳ございません。ちよつと時間がかかるようで。

後ほど回答させていただきますだければ。

**太鼓** 了解していいものか、どうか。

現在利用されてる世帯数は。

**町長** 49世帯。

**太鼓** 突然赤字が出るからと報告されても困る。

それでは、負担金は条例上、2万3000円となっているが。

肝付南部統合簡易水道の負担金が1万円になっているが。

どうして決めたのか。

**町長** 合併前から岸良地域には、水道の布設の話があった。

平成18年に住民説明会を行っており、その時に1万円と。

その当時の1万円を踏襲した。

**太鼓** 条例改正をしないでよろしいんですか。条例は、簡易水道も上水道も負担金は2万3000円となっているはずですが。

**町長** 条例上は確かに、そうなってます。

第36条に、その他の費用を軽減または免除することができるという条文もある。36条を適用した。

**太鼓** 肝付町民はみんな平等であるべきだ。合併後に旧内之浦町に給水設備を新設された方は2万3000円のはずですよね。

**町長** 岸良の水道の新設の話です。

**太鼓** 合併してから、

水道料金が統一された。あらゆる料金が同じになった。

優遇措置をしなきゃいけないかったと言う理由に行き着かない。

**町長** 来年の4月から条例どおりの2万3000円でやる。

3月31日までと。

**太鼓** 明確でないので調査して、もう一回検討したい。



肝付南部水道水源地 (岸良地区)

富永 洋一 議員



「重点施策の予算確保、将来を見据えた予算編成には、成果の検証が不可欠だ！」  
**富永** 29年度予算編成に向け、どのような考えで行うのか。  
**町長** 既存の事業の効果、成果の検証を行い費用対効果の高い事業

平成 29 年度予算について  
29 年度予算編成に向けた重点項目は何か。  
町長…子育て支援、災害対策、農業振興である。

**町長** 継続性のある事業、新たな事業について検証中である。財源の有効活用のため一定のスクラップも必要である。  
**富永** 重点三項目については基金の取り崩しで予算の増加を確保するのか。  
**町長** 頭で基金を取り崩すということではない。時期的に必要なものもあり、その場合取り崩すこともあるかもしれない。

を優先とし、予算編成に臨みたい。  
**富永** 重点的な予算編成の考えは何か。  
**町長** 基本的には、子育て支援、災害対策、農業振興をやつていきたい。  
**富永** 重点項目予算確保のため、予算の検証が必要と考えるが。

「マニュアルあつての予算措置、広報できているのか。」  
**富永** マニュアルのできていない中でカンゾウの予算措置をどう考えるのか。  
**町長** 過去の答弁でそのような表現をしている。この地でのマニュアルをつくっていくということと理解してほしい。

会での指摘（超勤、イベントのあり方、業務の重複）事項の履行はできるのか。  
**町長** 指摘事項については重く受け止めている。改善策として、その要因を各課で協議している。



公共施設（歴史民俗料館）

産業創出課長 写真については今後相談してほしい。  
**富永** 永野町政での新規事業についても中間的な検証をすべきであり申しのべておく。

公共施設 総合管理計画の策定について  
公共施設数はいくらか。  
町長…施設件数は 206 施設。

いくらか。  
**総務課長** 施設件数は 206 施設である。  
**富永** 40 年策定で年間いくらの財源を必要とするのか。  
**課長** 人件費を含めて年間 14 億円が必要と考えている。

「年間 14 億、公共施設の維持費、町政の大きな課題」  
**富永** 総務省が求めている公共施設等総合計画策定の議会、町民への報告はいつか。  
**町長** 年度中に議会への説明、町民への公表をする計画である。  
**富永** 公共施設件数は



子育て世代への医療費軽減策について

子供もインフルエンザ予防接種補助の対象にする考えは。

町長…来年度から中学生までの助成を検討する。

開催、事業者の公募など行う。平成31年度開設に向けて取り組んでいきたい。

有留 学校などに空気殺菌装置を設置し、空気感染の予防を講じる必要があると考えるが、町長 今後、国、県などによる特別な対策費

子供もインフルエンザ予防接種補助の対象にする考えはないか。

町長 中学生までを対象にインフルエンザ予防接種への助成と財源を含めて検討したい。

そのことにより重症化にならず医療費の削減にもつながれば、逆に予防接種の助成を行った方がいいのではな

いかという議論をしているところである。

【病児保育利用助成事業】

子どもが病気で保育園に預けられない等の場合、病児保育施設を利用できます。利用方法は直接施設にお問い合わせください。肝付町ではその施設利用料(日額2,000円を限度)を助成します。

福祉課(☎65-8413)で事前登録が必要です。

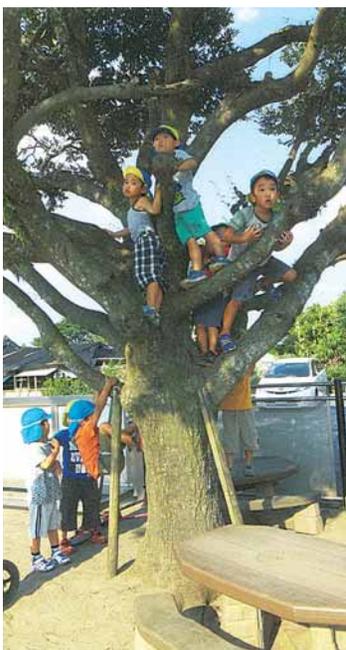
★利用できる施設

病児保育施設 森のくまさん家(利用料日額2,000円) 鹿屋市西原2-35-3 ☎52-0506

子供たちにとって住みやすい町に

肝付町に住んでよかったと思えるような環境整備を行うべき。

町長…ふるさと納税も活用し子育て支援を進めていく。



有留 台風16号による学校施設の被害状況は、肝付町

教育長 各学校において24件の被害があった。思い、また、大人にな

有留 復旧作業はどのつても肝付町に住み子育てをしたいと思うま

教育長 補正予算7号ちづくりをしたいと考えます。

ふるさと納税も活用しながら、子供たちにとつても住みやすい町

となる環境整備を行うべきと考えるが町長の考えは。

有留 第7号補正の専決処分迅速な対応も活用については、子育て支援に大胆に活用させてい

町長 危険を伴う部分は、早急に対応する。

町長 危険を伴う部分は、早急に対応する。



薬用植物について（甘草栽培）

実証栽培が思わしくなければ他の作物への切替は。

町長…有望な作物があれば並行した取り組みも検討する。

●薬用植物について  
柳 甘草を試掘して、収量、薬用成分は前年と、どう違ったか。  
町長 薬効成分の含有量は、日本薬局方の2%に達しており若干の期待は寄せている。  
柳 甘草栽培園地が荒れているが、何故か。

町長 害虫の防除はいろいろな手段を有機的に組み合わせ、害虫を食べてくれる土着の天敵の生育に良い環境を作るために雑草を管理し、残しているのであり荒れているのではない。天敵を利用する栽培方法については、今その試験を行っているというところをご理解いただきたい。

柳 甘草栽培のこれから先の見込みはどうか、また、他の作物への切替はどう考えるか。  
町長 昨年度から、本町の気候に合うのではと期待する新規系統品種の導入や総合防除の取り組み、加工品の開発、養殖魚のハダムシ対策への利活用研究など少しずつではあるが前に進んでいる。また、他に有望な作物があれば、並行して取り組ん

指定管理について

運営は続けていかなければと思うが、町長の考えは。

町長…交流、観光、町民の健康と福祉の向上に繋がる。引き続き運営していく。

●指定管理について  
柳 指定管理施設の修理は終了し、入浴客等は増えたか。燃料の薪や灯油代金は以前とどう変わったか。  
町長 前回、修理すると言った所はほぼ終わっている、それ以降、修理箇所も、発生しているので順次対応していく。入浴客数は修理等が功を奏し、減少傾

向から維持或いは増加に変わった。燃料代の推移は、平成26年度と28年度では温泉ドームが五百六十万円、コスモピア内之浦が六百一十円の減となっている。  
柳 これらは、町民の健康と福祉の向上、交流の施設です。観光協会と連携して宿泊、食事をする場所として必要であり、盛り上げていかなければと思っています。町長の指定管理施設についての今後の考え方を問う。  
町長 入り込み客の受け皿、観光拠点施設として、また町民の健康と福祉向上に繋がる施設と考えている。各施設所在の地域にとっても町の活性化にとっても無くてはならない施設と認識している。引き続き運営していきたい。

7月の改選について

7月に改選される町長選への出馬の考えは。

町長…教育、福祉、産業まで活用した夢のある未来に向けチャレンジしたい。

●7月の改選について  
柳 町の発展と活性化直面する課題、難題が多いが7月に任期満了の町長選への出馬は。  
町長 全身全霊を注ぎ次の世代のために教育から福祉向上、産業振興まで夢のある未来と県下一元気な肝付町をつくるためチャレンジしたい。

議会を傍聴してみませんか  
次の定例会は **3月** です。

日程等詳しい事は議会事務局(TEL 65-8431)までお問い合わせください。



消防組合、内之浦分署の移転について

津波等を考慮すると、早期の移転を。

町長…現在、議論を行っている。

移転を含めた議論を行っている。議員も組合議員ですので、協力をお願いしたい。



消防組合内之浦分署

**益山** 消防組合内之浦分署の移転が必要ではないか。津波の被害が想定され施設自体も老朽化が見られる。組合を構成する自治体であり地元町の長としての考え方は。  
**町長** 南海トラフ地震等の津波浸水域にあり、

超過勤務について

民間が終了時間を確認する事に問題はないか。

町長…妥当である。

**益山** 超過勤務後、業務委託している民間業者が確認後、押印をしている。公金が絡む最終確認を民間が行う事は問題がないのか。  
**町長** 業務委託契約の中にあり、妥当であると思っています。

カラーピーマンについて

農家の経営安定に助成すべき。

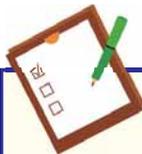
町長…諸施策で対応したい。

**益山** カラーピーマンを町の特産物にしたいと答弁している。これを受け委員会で農家と話し合いをもったが、生活を含めた現状は厳しいと感じた。改善のため経営安定化資金等を創設すべきでは。  
**町長** 平成29年度、国が収入保険制度の法制化を検討している。動向を見据えながら加入を促進したい。認定農業資金も各種あり、相談があれば、対応を行

いたい。  
**益山** 有利な事業資金は確かにあるが、それに供う返済が大変だとも聞いた。身一つで本町に来られ、血縁者もない中、簡単には返済金の用立てができない事情もある。その様な中、町が支援のためセーフティネットを設けても良いのでは。  
**町長** 退路を断って町に来ていただいた事は重々、理解している。制度資金には町も利子補給を行っている。まずは農協等の様々な資金を利用して欲しい。  
**益山** 平成26年、農業経営安定助成制度を創設し町も関与したいと答弁している。その後、これは出来たのか。  
**農振課長** 経済連が主体となり創設された。他団体からの意見もあり、町は参加してない。

**益山** 技術を学ぶため2年間、実証ハウスで研修しているが、研修生の持出金が相当額、必要だと聞くが、なぜこうなるのか。  
**農振課長** 必要経費があるためです。  
**益山** 一期生と五期生では相当な差額がある。  
**農振課長** 補助金の差があるためです。  
**益山** 薪ボイラー等を設置し、負担の軽減を図りたいと答弁したが、その計画は進んだのか。  
**町長** 重油等の値上がり等もあり、バイオマス等も模策してみたい。  
**益山** 平成28年頃に、今後10年間の計画を見直すかと答弁したが、出来たのか。  
**農振課長** 見直し中です。本年7月に行う。

農振課長 農振課長



# 所管事務調査報告書

## 産業・福祉委員会

### 調査事件及び場所

#### 1. 大隅加工技術センター視察

調査日 平成28年11月15日(火)

出席委員等 産業・福祉委員7名

議会事務局職員2名

#### 2. カラーピーマンの作付けに対する取組みや安定生産をはかるための調査

調査日 平成28年11月15日(火)

出席委員等 産業・福祉委員6名

議会事務局職員1名

### 調査の概要及び結果

#### 1. 大隅加工技術センター視察

農業の6次産業化と高付加価値型農業展開と方向性を調査するため、視察を行った。加工センターの前野氏から説明を受けた。

農産物の一次化と高次加工で食品加工業の育成を目指し、流通技術のノウハウを学ぶ事によって、本町の新しい生産品の特産化を探る目的で視察を行った。



加工センター会議室

#### 2. カラーピーマンの作付けに対する取組みや安定生産をはかるための調査

高山やぶさめ館2階交流室において、複数のカラーピーマン生産農家及び農業振興課担当職員から意見を聴取。質疑を実施し、作付けに対する取組みや、安定性をはかるための調査をした。

近年、作付けの種類が改善したこともあり、少しは安定に向け明るい兆しが見えたとはいえ、初期の投資が大き



カラーピーマンほ場

な負担と

なり生活に困窮する場合がある、施設の修繕等の経費が負担であるなどの意見が出た。

経営安定化のために、初期投資に対する一層の助成措置をはかるべきではないか。将来的にはカット施設や集荷施設等の建設も考えるべきと思う。



やぶさめ館会議室



# 所管事務調査報告書

総務・文教委員会

## 調査を実施した項目

1. 防災対策について
2. 町内小中学校の現状と課題について

## 委員会調査報告

### ○防災対策について

調査実施日：10月24日、11月18日、12月13日

平成28年7月17日に開催された内之浦地区での議会報告会において、町民から「防災について」の意見が出された。南海トラフ地震の発生による津波に関して、避難場所などについて不安を抱えているとの内容であった。

本町では「肝付町地域防災計画」が策定されており、平成27年度には新たに南海トラフ地震防災対策推進計画が盛り込まれ

た。また自主防災組織の組織率は平成28年4月1日現在で93.2%となっている。

内之浦地区にも自主防災組織協議会が組織されていて、地震発生時の津波対策は既になされているところであるが、総務・文教委員会ではこの津波対策についての調査が必要であるとのことから、今回調査を実施したところである。

10月24日、内之浦総合支所にて総務課長、総合支所長及び担当職員と参考人



内之浦総合支所会議室

として内之浦地区自主防災組織協議会の津房会長、上村前会長にも出席を願い、同地区における防災対策の取組みなどについて話を聞いた。

内之浦地区自主防災組織協議会は町行政とも関係を図りながら、特に自主的な取り組みをしていることに防災意識の高さを感じたところである。その中で、津波避難タワーの建設が予定されているとの説明があった。この津波避難タワーは、地震発生



から津波到達までに時間内に一時的に避難するタワーである。建設する具体的な場所や高さ、構造についてはまだ決まっていないが南方地区の適所になるとのことであった。

総務文教委員から、避難タワー建設の際は地区住民の声を聞きながら、一時的な避難タワーであっても十分な高さや施設の強度は必要ではないか、との意見が出された。また、町内各地区においても津波発生時に使用する避難道路は常に整備しておく必要があるとの意見もあった。

当日は避難タワーの候補地や北方公民館の視察行なった。北方公民館は、北方地区の避難施設として、その高さや強度について総務課長からの説明を受けたところである。



下伊倉津波避難タワー

1月18日の総務文教委員会では、前回調査した津波避難タワーについて総務課長から説明を受けた。委員からは、完成予定年度や津波発生時の火災などへの対応について質問があった。火災への対応とは東日本大震災時に火災した家が流されるなどの事態が発生していたため、それらに対応可能な強度や構造をもった施設建設が重要でないかとの内容からであった。

また、委員会では東串良町に建設された下伊倉津波避難タワーを訪問し本町のタワー建設の参考にすべきとのことから視察することとした。

12月13日、東串良町下伊倉津波避難タワーを視察した。同町総務課の担当者から説明を聞き、本町の現状と照らしながら質問を行なった。

下伊倉津波避難タワーは平成28年3月に完成した。施設の概要は、鉄筋コンクリート造りで、避難ステージ（避難するスペース）は約60㎡である。

東串良町では南海トラフ巨大地震による津波から人的被害を防ぐため、浸水想定地域である下伊倉地区に、緊急的な一時避難場所として同避難タワーを建設したとのことであった。南海トラフ地震発生時における同町の震度は「5強」、最大津波高「7.37 m」、津波到達時間が「38分」と予想されている。

これらの予想をうけて建設されたタワーは、標高3 mの敷地に8 mの高さの避難ステージ（＝標高11 m）のある避難タワーとなっている。その他、安全防護柵や防災用品収納倉庫も設置されている。

この視察は、本町における津波避難タワー建設に大いに役立つものであった。本町においては、地震発生時の震度は「6弱」、最大津波高「8.54 m」、津波到達時間が「28分」と想定されているので、下伊倉津波避難タワーと照らしながら、また本町独自の条件を

考慮した施設建設が必要であるとの感想を得た。

委員からは、避難タワー建設にあたって杭の深さや強度、タワーの高さ、避難タワーを最大活用するための方策などについて質問があった。特に夜間に津波が発生した場合を想定した訓練も必要ではないか、との意見もあった。

## ○ 町内小中学校の現状と課題について

調査実施日 : 12月13日

12月13日、町内小中学校の現状と課題について調査を行なった。

町教育委員会教育委員長を初め、教育長、教育総務課長、生涯学習課長、学校給食センター所長及び担当者に出席を求め、町内の学校経営についての説明を受けた後、質疑応答を行なった。

町内の小中学校においては、どの学校も児童・生徒の個性を活かす取り組みが実行され、子供たちの素晴らしい活躍ぶりが手に取るように理解できた。これは、各学校の校長を初めとする先生の熱心な指導と、学校と家庭の関係によるものと感じた。

当日は高山中学校で調査を行なった。高山中学校の学校経営、学業、運動、部活など様々な分野での活躍は素晴らしいものがあった。多数の表彰や受賞実績を見るとき、同校のこれまでの努力に賛辞を贈りたいとも思った。

児童・生徒にとっては食育は大切である。

当日は学校給食も食べる機会もあり、バランスのとれた給食は美味しかった。これからも給食センターの皆さんには美味しい食事を作ってほしい。

本町は英語教育にも力をいれて取り組んでいるという説明があった。その取り組みが既に開花し、英検などで優秀な成績をとる生徒が大勢いることはとても素晴らしいことである。是非、世界に羽ばたいて欲しい。



高山中学校

視察の終わりに吹奏楽部から演奏のプレゼントがあった。高山中学校はいつも音楽で皆さんを幸せにしてくれる。

この日も、とても幸せな気分で高山中学校を後にすることができた。

## 新富中央通り会と議会との意見交流会

主旨：新富中央通り会は、仲町・新町地区の商工業者が主体となって設立した団体であり、廃業が進み、かつての面影も薄れてきた商店街が様々な事業を通して活性化することを目的としている。

日時 1月12日 19時 場所 商工会館 3階

商店街活性化に向けフリーな話し合いがなされた。主な意見として初めての会であり準備不足も指摘されたが、このままの状態であると街は衰退していく一方で、皆んなで知恵を出し活性化に向け今後も継続していくことを確認した。

この事は若者達の今後の活躍に期待したい。

課題として通り会として事前の話し合いが必要である。

又行政との話し合いがなされていない。今後必要ではないか。

(文責 富永洋一)



## 初めての インタビュー



### 取材内容

## 岸良小中一貫校について

### 西之園教育長と永野教育総務課長にインタビュー

## 平成29年4月実施 県内4番目



# 「傍聴者のこえ」

議会を傍聴していただいた方のご意見です

町議会をインターネットにて放映していただきたい。特に家を離れられない(店主等)町民のためにもお願いします(抜粋)



傍聴の機会にぜひ一言!

## ★議会報告会を3月5日(日)に開催します。

内之浦会場 午前10時 内之浦総合支所 3階会議室

高山会場 午後2時 町文化センター 2階会議室



前回の報告会のようす

### 編集後記

広辞苑によると、議会とは「公選された議員によって組織され、国民・住民の意思を代表・決定する合議制の機関」と記してある。

十分に自覚していると思っているが、果たして住民の方々には、どの様に認識されているのか、いつも自問自答している所です。

県内で二つの自治体の新庁舎建設に対し、住民投票条例の請求がなされ、いずれも議会でも否決されている。議員が民意を反映していないという住民の姿が脳裏から離れません。

建設の是非は諸事情を知り得ない立場では判断しかねますが、同じ議会議員として考えさせられる言葉でした。

民意をどう捉えるのか、自らに与えられた議題として、今は当選時の初心を忘れる事なく、議会活動に励む事が大事だと思います。

#### 議会広報委員会

委員長 文責 益山二郎  
委員 太鼓重義  
副委員長 中原稔  
委員 中留智哉  
委員 有留智哉  
委員 富永洋一  
委員 益山二郎